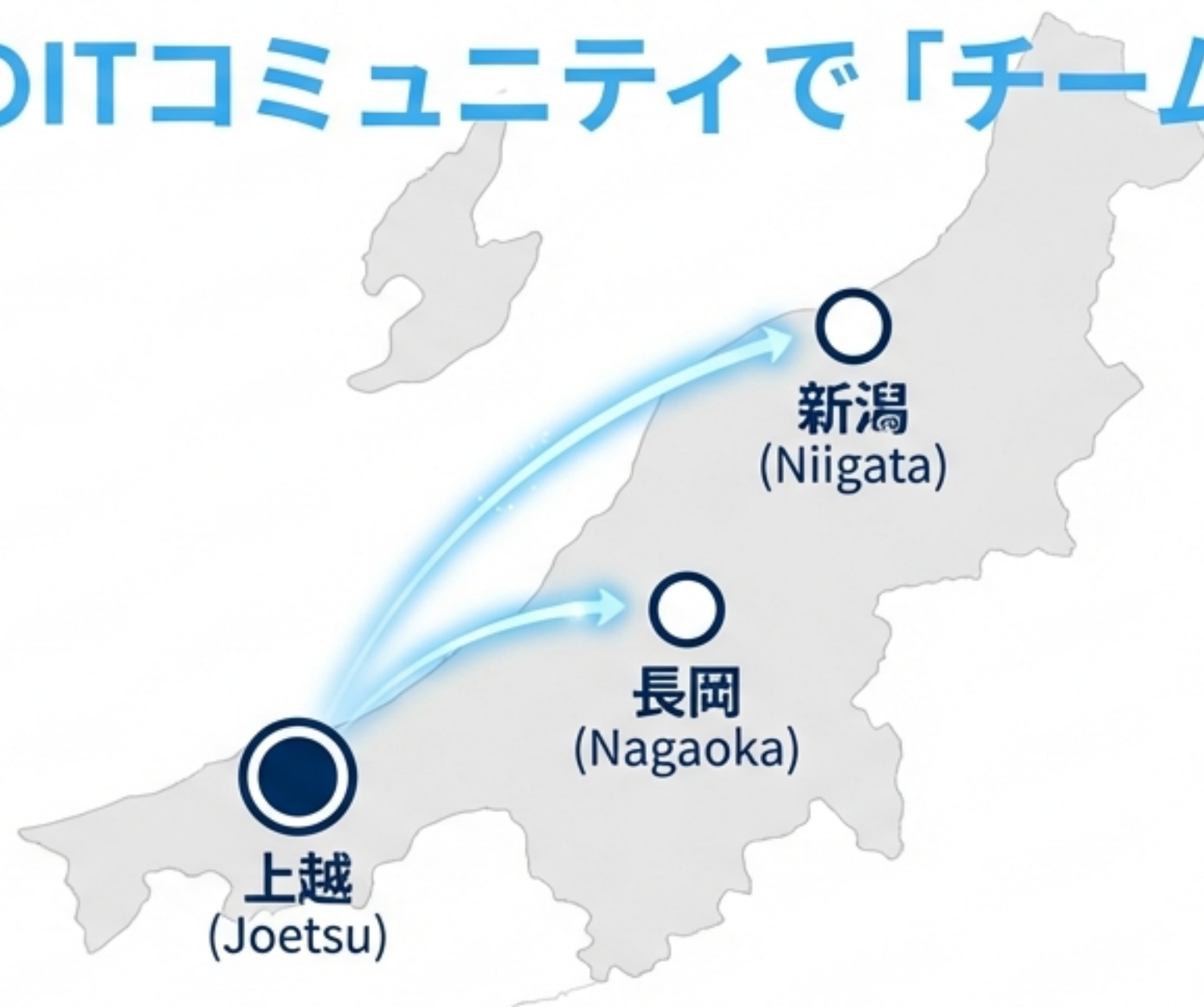


ORAJAのIT人材の取り組みについて

ORAJA 常務理事 クラスメソッド株式会社 最高情報責任者 植木和樹

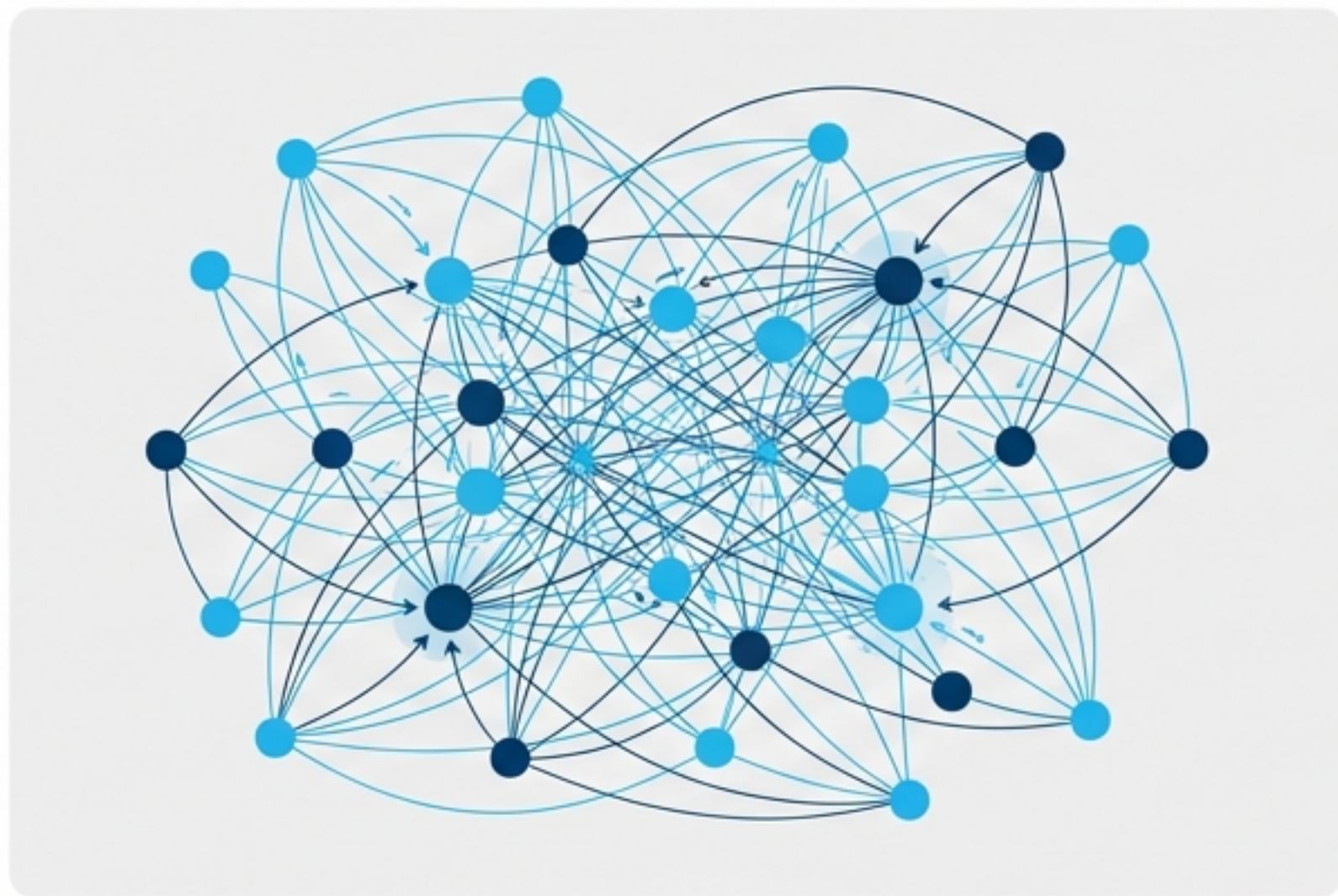
上越の挑戦から、新潟の未来へ

県全体のITコミュニティで「チーム」を作る



なぜこの話をするのか？ 東京と上越、2つの世界の比較

東京



2013年に上越へ。東京との最大の違いは、企業を超えた人的・技術的交流の場でした。



日々開催される勉強会。多様なエンジニアが交流する文化。

当時の上越

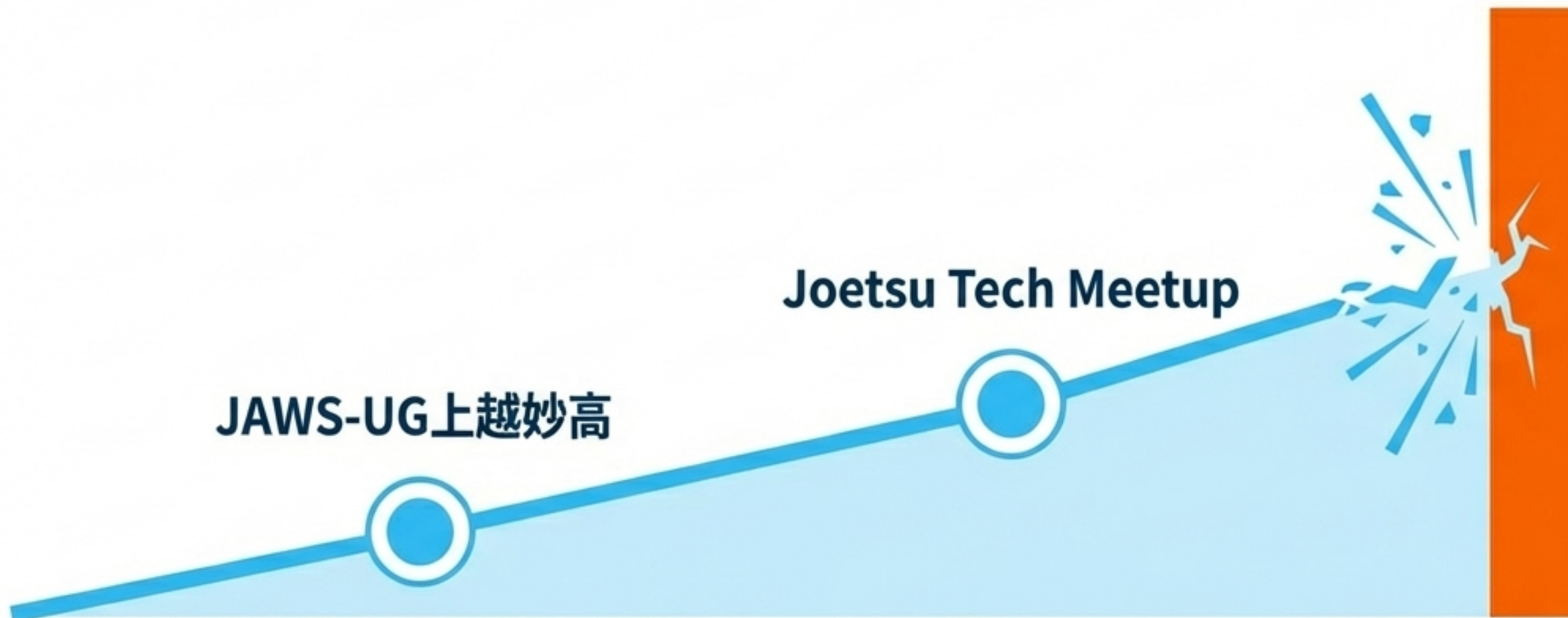


コミュニティは存在せず、孤立感が強かった。



コミュニティは存在せず、孤立感が強かった。

ゼロからのコミュニティ構築、そして突然の「リセット」



2013-2019: 繋がりのはじまり

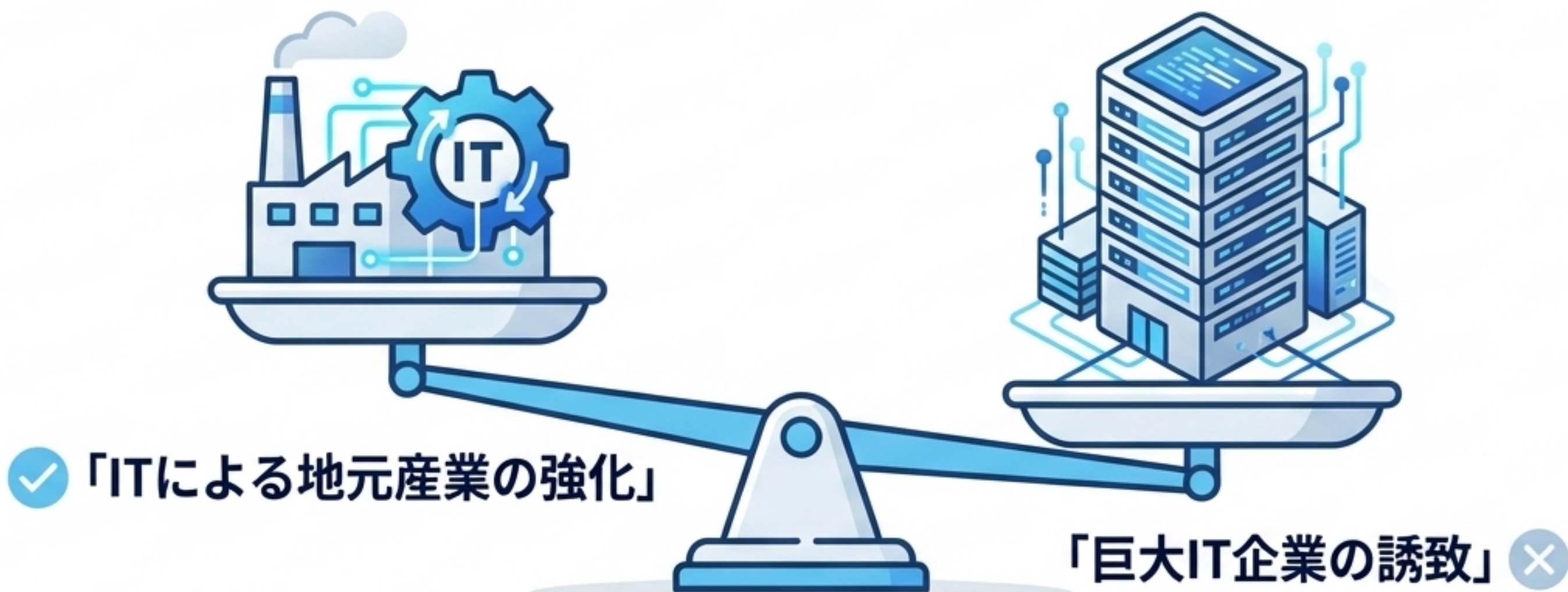
JAWS-UG上越妙高やJoetsu Tech Meetupを立ち上げ。
長岡や新潟のエンジニアとも交流が生まれ、相互にイベント
へ声をかけあう関係ができた。

2020: コロナ禍という壁

全ての対面勉強会が消滅。
築き始めた交流が途絶えてしまった。

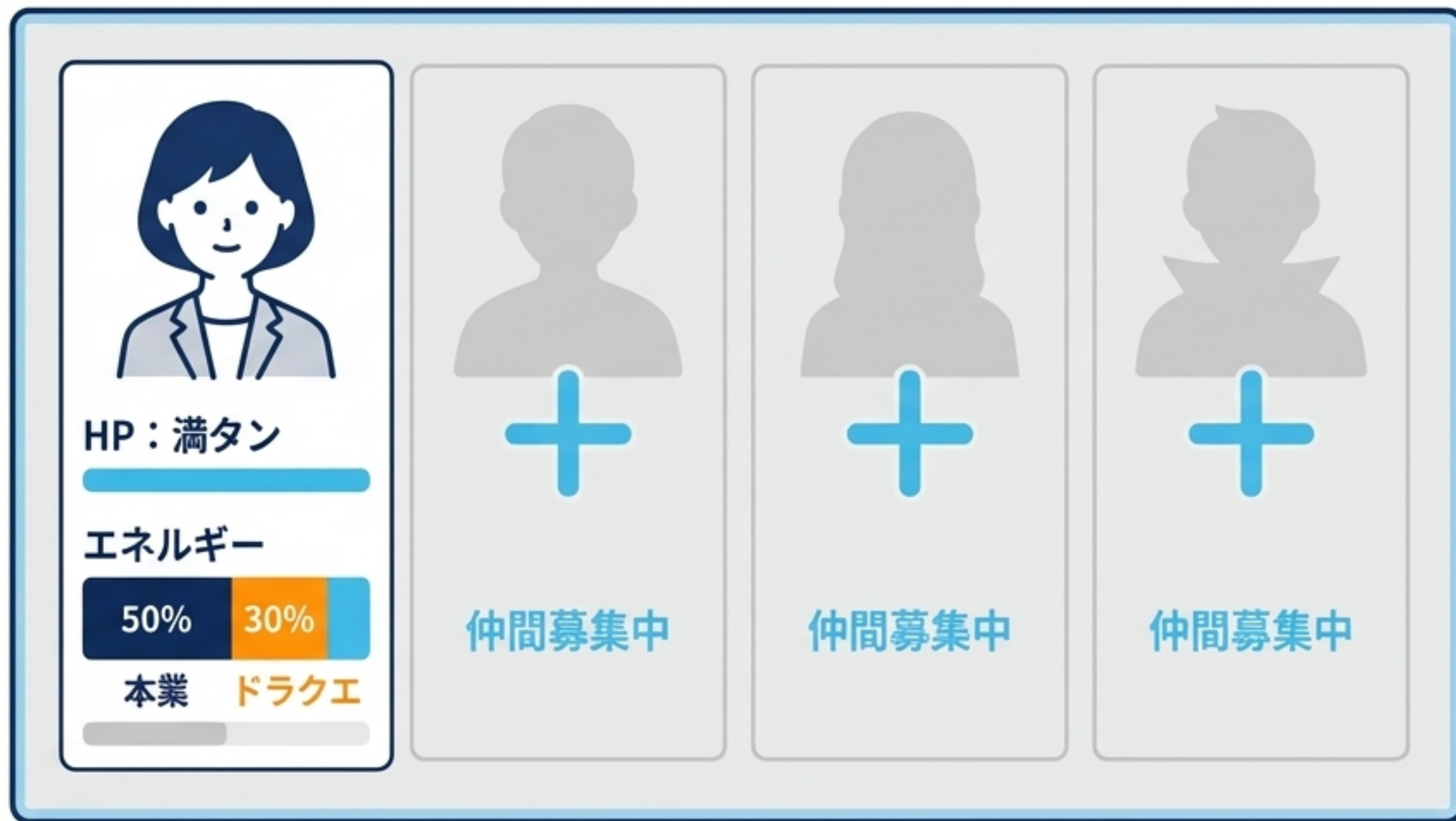
我々の真の目的：なぜITエンジニアを育成するのか？

- ITの仕事は、既存業務の自動化・効率化。究極的には人を不要にする側面も。
- 数百人規模のIT雇用を地域で創出するのは非常に難しい。



現実的な戦略：地域の基幹産業（製造業、建設業など）をITで支援し、
彼らの業績向上を通じて雇用を創出してもらう。

地域の課題：プレイヤーが圧倒的に足りない



- 業務外で地域の活動に割ける時間は限られている。
(ドラクエのレベル上げもしないといけない!)
- 上越は、コミュニティ活動を牽引する「プレイヤー」の数が限られているのが現状。
- ミッション：活動に興味を持ち、繋がってくれる仲間を増やすこと。

地域のITを支える「情シス」の孤独な戦い

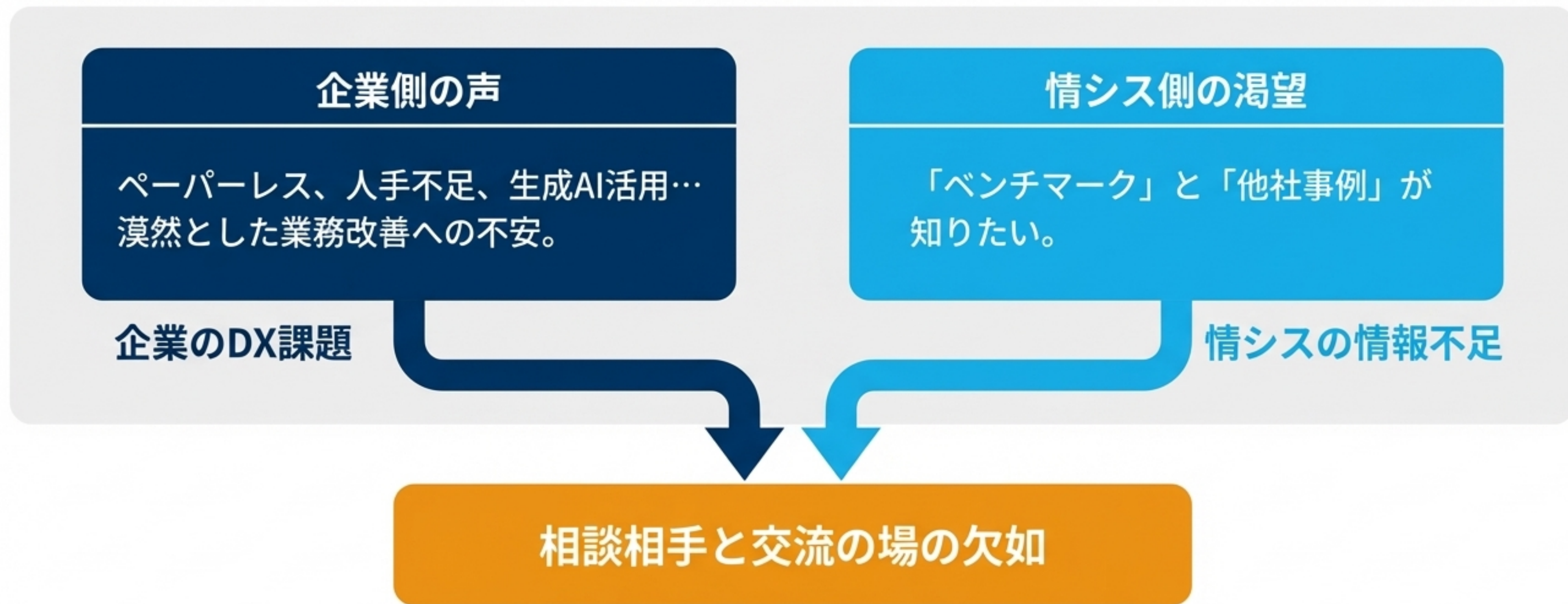
県内企業の多くは「一人情シス」や少人数体制。

その役割は多岐に
わたる：
コスト削減、
セキュリティ、
機器リプレイス、
DX推進、日々の問
い合わせ対応…。



共通の悩み：
「自分のやり方は
正しいのか？」
「他社はどうして
いるんだろう？」
という不安と、
相談相手の不在。

企業の「DX不安」と情シスの「孤立」。根っことは同じ。



結論：どちらも、信頼できる相談相手と情報交換の場を求めている。
この課題の根源は共通している。

未来への種まき：10代のIT体験が5年後、10年後の資産になる

- コロナ禍で見つけた新しい光が「U16プログラミングコンテスト」。
- 長期戦略：まず10代にITの楽しさを知ってもらう。



5~10年後、彼らが社会人になり業務効率化で困った時、「あそこのコミュニティに行けば相談できる」と思い出してくれる。それが未来のセーフティネットになる。

現在を繋ぐ：「デジタル・ITキャリアフェア」の役割

- IT企業だけでなく、情シス人材を求める一般企業も対象。
- クラウド時代であっても、ネットワークの末端など、現場で対応する人材は不可欠。
この人材不足は地域全体のIT化を滞らせる。

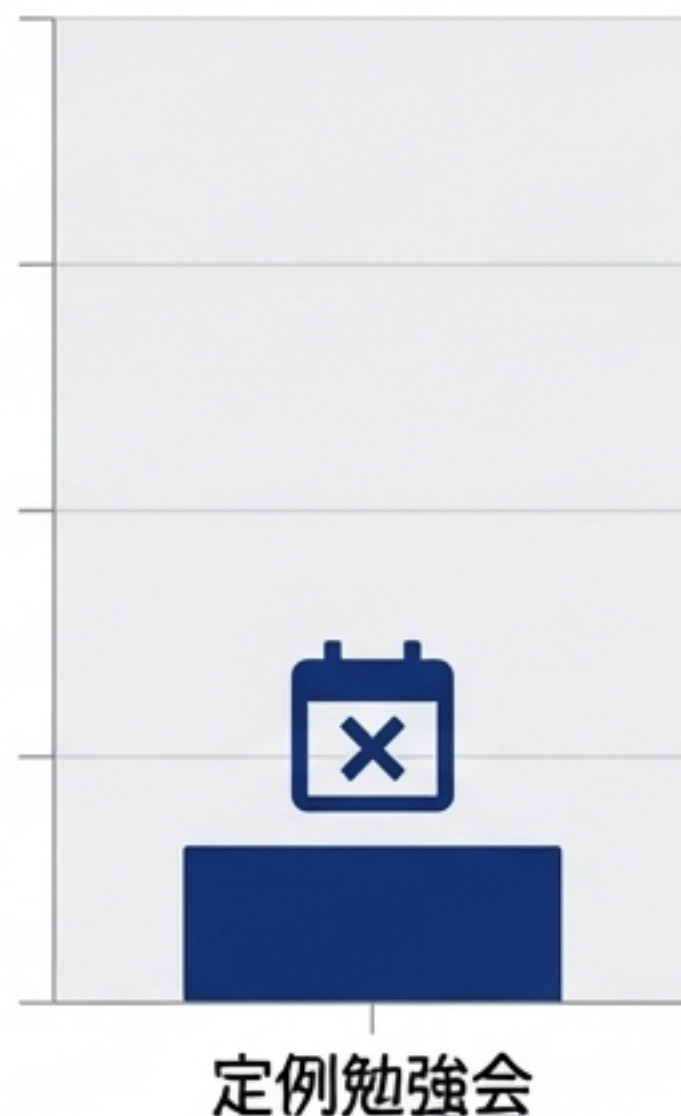


目的：ITで働きたい人と、IT人材を求める企業を繋ぐマッチングの場。
困った時の相談窓口としてのコミュニティの入口にも。

上越の現状：集まる文化は無いが、イベントへの熱量は高い

課題 ↗

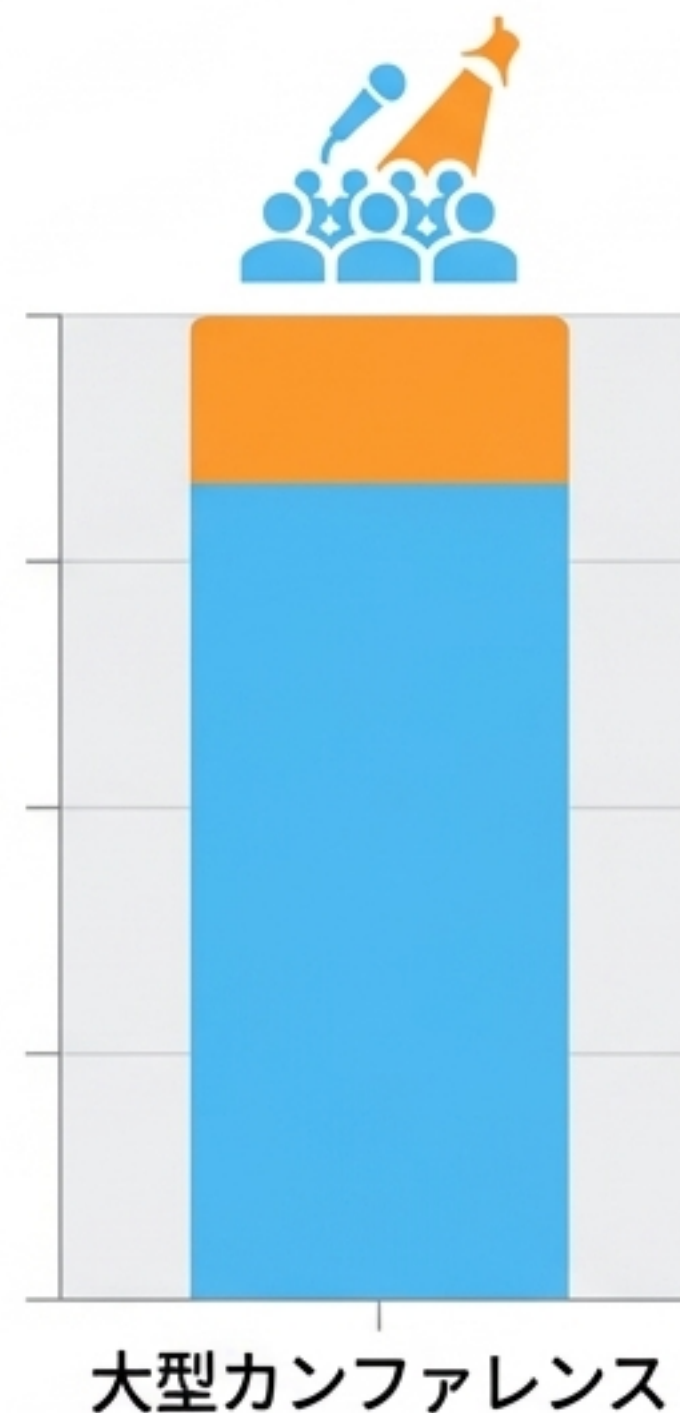
定期的に広く集まるコミュニティは少ない。理由は「集まる文化の不在」と「プレイヤー不足」。(U16, もくもく会は活動中。JTM, JAWS-UGは休眠/再起動中)



定例勉強会

希望 ↗

JAWS-UG北陸新幹線やKome Kaigiのような大規模イベントには、上越からも多くのエンジニアが参加したいと考えている。



大型カンファレンス

みなさんへのお願い：新潟県全体で「チーム」になりませんか？

そこで、ここに集まった
新潟・長岡の皆さんに
お願いします。

上越からも、長岡のAI
ハッカソンのような取り
組みを地域に持ち帰り、
県全体の活動に繋げた
たいと考えています。



皆さんがイベントを実
施する際に、ぜひ上越
のエンジニアにも声を
かけていただけないで
しょうか。

このENOG88を、県内の
人的ネットワークを繋
ぎ、交流を深めるきっ
かけにしたい。

協力によって生まれる価値



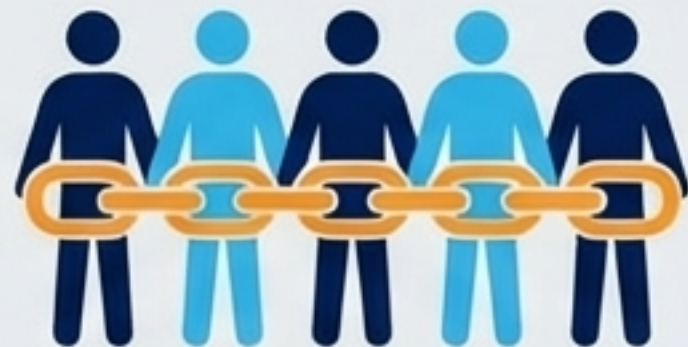
技術交流の活性化

都市間のエンジニアが交流し、新たなアイデアや知見が生まれる。



情シスの課題解決

他社事例の共有が容易になり、県内全体のITレベルが向上。



強力な人材 パイプライン

県全体で若手を育成し、魅力的なキャリアパスを提示できる。



「新潟ブランド」 の確立

活発なITコミュニティとして、県外へのアピール力が高まる。

次のクエスト：我々が目指す未来の活動

もし、この連携が実現したら、こんな未来を描いています。



新潟ITコミュニティ・ リーダーズ・サミット

各地のリーダーが集まり、
県全体の戦略を議論する場。



LOCKED



業務改善相談 常設ブース

地域の企業がいつでも相談
できる窓口。



LOCKED



地域DX活動の 共同実施

地元の専門学校生も巻き込み、
実践的なプロジェクトを推進。



LOCKED

このENOG88を、新潟全体のネットワークが繋がる第一歩に



**ITで地域を面白くする。その主役は、ここにいる私たちです。
一緒に新潟をレベルアップさせていきましょう。**